



令和5年度及び令和6年度 除雪事業に関する要望



令和5年10月

北海道

令和5年度及び令和6年度除雪事業に関する要望

除排雪の現状と課題



積雪寒冷地である北海道では、冬期間における安全で円滑な道路交通の確保は、住民生活や社会経済活動を支える上で、非常に重要であります。

しかしながら、気候変動の影響によって暴風雪や豪雪などの異常気象が多発し、また、近年の労務費や諸経費等の上昇、除雪機械の老朽化による維持的経費の負担増など、除雪に要する費用が増加傾向にあることから、令和5年度追加配分及び令和6年度除雪予算等について、次のとおり要望いたします。

記

- ・近年の労務費や諸経費等の上昇に伴う経費の増加を踏まえ、除排雪等に必要な予算を確保すること
- ・地域の実情に応じた交付金の柔軟な執行に対応すること
- ・小雪時でも除雪業者が安定した経営を維持できるよう、待機補償・機械固定費などの最低保証に係る制度を創設すること
- ・除雪体制を維持するため、老朽化が進行している除雪機械等の計画的な更新・増強が可能となるよう財政支援を強化すること

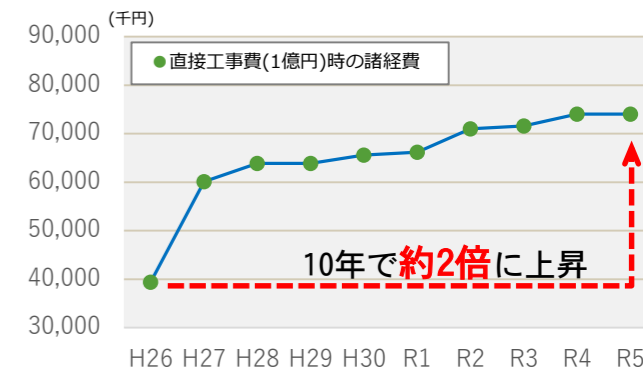
令和5年10月

北海道知事 鈴木 直道

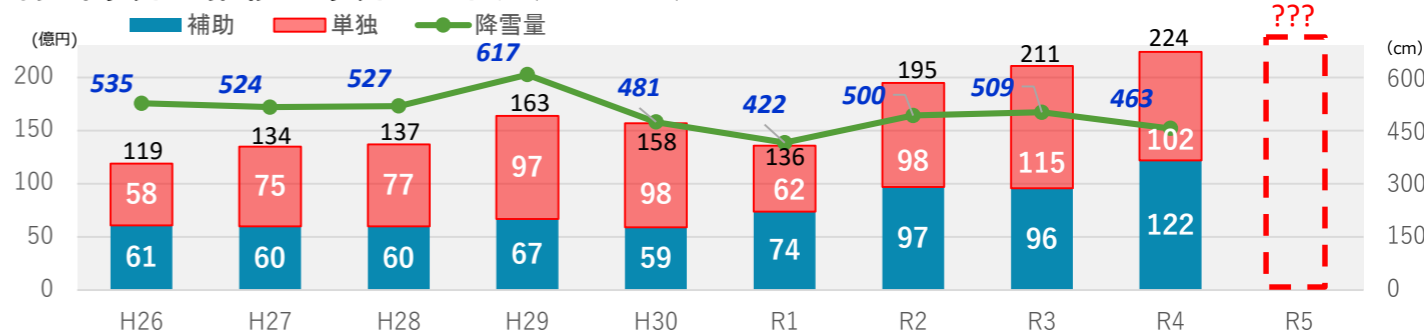
■労務費等の増加により除雪予算が年々上昇

- 年間降雪量は少雪傾向にあるが、労務費や諸経費等の上昇によって**除雪費が年々上昇**している。
- 除雪費のうち、単独費が増加傾向 **(道負担の増)**

▼公共工事労務単価、諸経費が年々上昇



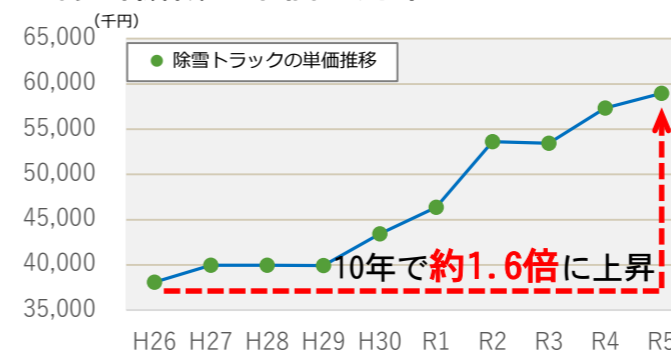
▼除雪予算の推移と予算の内訳 (H26~R5)



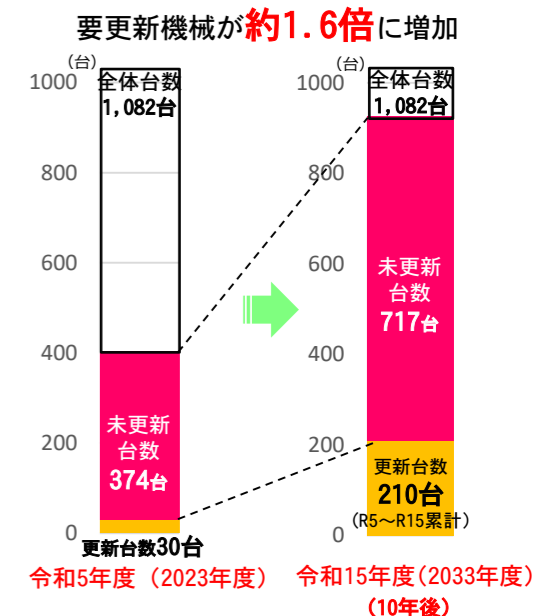
■除雪機械の未更新による老朽車両の増加

- 除雪機械の単価が増加傾向 **(予算不足)**
- 除雪機械の老朽化等による**維持的経費の負担増**

▼除雪機械の単価上昇率



▼保有除雪機械の老朽化状況



■除雪が滞った場合の道路利用者への影響



※経過15年の除雪機械を老朽車両台数として更新が必要な台数としている